

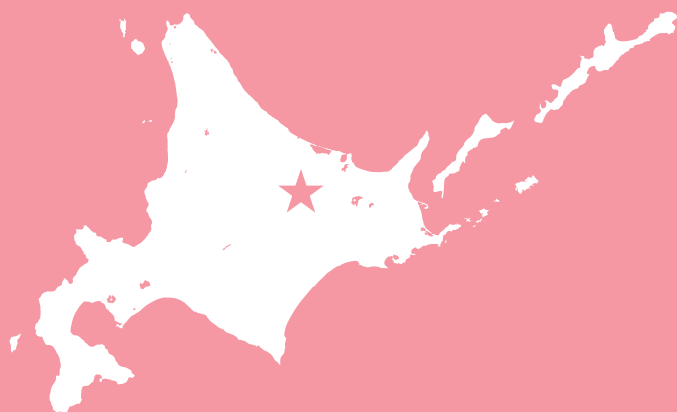
★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

No.4

2021.3

- FOCUS
オンラインによる技術広報活動
- TOPIC
地域を彩る食物語 開催
- 共同研究
- スタッフ活動



FOCUS

オンラインによる技術広報活動

社会連携推進センターは、北見工業大学の産学官連携活動推進に向け、技術シーズと社会のニーズとのマッチングを図る展示会・交流会に年間15件近く参加しています。その範囲は北海道内に留まらず、首都圏、中京圏にまで及びます。北見工業大学の強みであり特徴といえる「寒冷地」「第1次産業」「環境」「エネルギー」をキーワードとする研究について、積極的な広報活動を進めています。また、北見工業大学には、地域の特色を色濃く反映した研究に取り組む4つの研究推進センター（環境・エネルギー研究推進センター、冬季スポーツ科学研究推進センター、オホーツク農林水産工学連携研究推進センター、地域と歩む防災研究センター）があります。当センターでは、これら研究推進センターが取り組む研究の紹介にも力を入れています。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響によりこれまで対面で実施されていた展示会・交流会の多くが中止、あるいはオンラインでの実施に切り替わりました。その結果、出展件数はオンライン出展が3件、対面も併用した展示会・交流会等が3件でした。

2020年度 産学官連携マッチング展示会・交流会出展状況

開催日	展示会・交流会名称	開催場所	主催	北見工業大学出展内容
9月28日(月)～ 11月30日(月)	イノベーション・ジャパン2020 ～大学見本市 Online～	オンライン(Web)	JST ¹⁾	「地域の生物資源を活用した地域活性化」 地球環境工学科 小針良仁 助教
11月5日(木)～ 11月6日(金)	ビジネスEXPO 第34回北海道技術・ビジネス交流会	アクセスサッポロ (札幌市)／オンライン (Web)	下記 参照 ²⁾	環境・エネルギー研究推進センター 冬季スポーツ科学研究推進センター オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 地域と歩む防災研究センター
11月11日(水)～ 11月13日(金)	アグリビジネス創出フェア2020	オンライン(Web)	農林 水産省	「家畜排泄由来液体肥料の効果と普及」 北見工業大学 環境大善共同研究講座 地域未来デザイン工学科 小西正朗 教授
11月16日(月)～ 12月11日(金)	異業種交流展示会 メッセナゴヤ2020オンライン	オンライン(Web)	下記 参照 ³⁾	オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 地域と歩む防災研究センター
12月4日(金)～ 12月10日(木)	アグリビジネス創出フェアin Hokkaido －北海道の食と農の明日へ－	サッポロファクト リーホール (札幌市)／オンライン (Web)	農林 水産省	オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 工学連携推進型6次産業人材育成事業の取組
2月24日(水)～ 2月26日(金)	地域を彩る食物語	コミュニティプラザ パラボ(北見市)	下記 参照 ⁴⁾	工学連携推進型6次産業人材育成事業の取組 詳細はTOPIC参照

1) 国立研究開発法人科学技術振興機構 2) 北海道技術・ビジネス交流会実行委員会
3) メッセナゴヤ実行委員会 4) 北見市産学官連携推進協議会

PICK UP!! 2020年度 対面・オンラインのハイブリット開催となった産学官連携マッチング展示会・交流会

ビジネスEXPO 第34回北海道技術・ビジネス交流会



北見工業大学は2022年4月の帯広畜産大学、小樽商科大学との経営統合に向け準備を進めています。本展示会では、「三大学共同の産学官連携による分野融合を目指す取り組み」をメインテーマとし、三大学共同で出展しました（写真は出展ブース）。

アグリビジネス創出フェアin Hokkaido －北海道の食と農の明日へ－



展示会会場では出展者間でのみの交流が行われました。各出展ブースが行った説明はリアルタイムで配信され、またYouTubeによる期間限定の配信も行われました（写真は北見工業大学出展ブース）。



TOPIC

地域を彩る食物語開催

2月24日～2月26日の3日間、コミュニティプラザパラボ（北見市）を会場に「地域を彩る食物語」が開催されました。本イベントは今年で11年目を迎えました。「地域を彩る食物語」は社会連携推進センターが中心となり、2006年度から実施した文部科学省科学技術振興調整費<地域再生人材創出拠点の形成>「新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン」事業（以下、本事業）の取組の中で、2010年度から開催してきました。2014年度からは北見市産学官連携推進協議会（以下、協議会）が主催となり実施しています。今回は、協議会の参画大学・機関による地域資源を活かした開発商品の販売会に加え、YouTubeによるオンラインセミナーが2月22日～3月5日に開催されました。オンラインセミナーでは、社会連携推進センター長の有田敏彦教授から、過去10年の「地域を彩る食物語」の開催内容を振り返り、本事業に参加した機関の紹介、講演会、人材育成事業の受講生による成果報告ならびに開発した商品の販売会の模様をダイジェストで紹介しました。また、公益財団法人オホーツク財団と公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）から、最近の取組事例や新商品開発支援について紹介がありました。

本イベントは、参加大学・機関とともに「食と健康」、「人材育成」をキーワードとする地域興しの意識を広く共有し、それぞれの活動を発展させていく場として今後も継続的な開催が予定されています。

～大学からの発信 こだわりのあるおいしいもの 販売会～
地域を彩る食物語
 まちきた大連ビル地下催事場
 AM10:00～PM6:30
 2月24日(水)～2月26日(金)
 開発食品販売会・開発等各機関オンラインセミナー

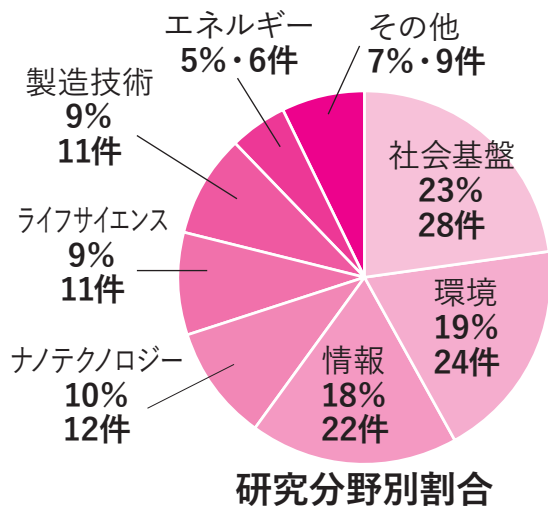
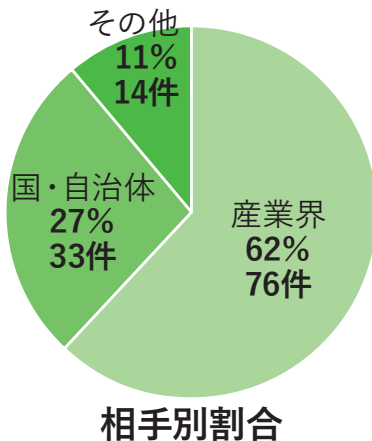
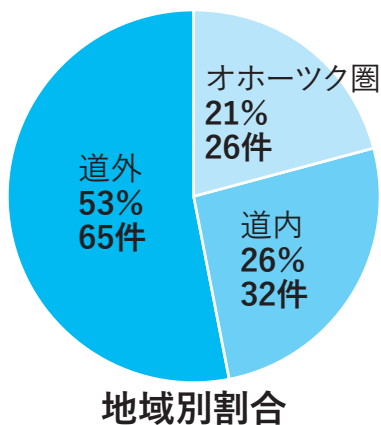
有田敏彦 マルミヤ大宮商店 レストラン エフ たかおか食品
 福子工務 Shiga 種を育てる研究所 有田敏彦 田代 農場
 伊谷 啓事 北見産学官連携センター
 ロスマーク 産 産 産 マルミヤ オフショ
 ロスマーク 産 産 産 マルミヤ オフショ

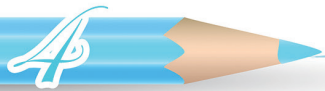
オンラインセミナー 2月22日(月)～3月5日(金) YouTube にて配信!
 過去10年の「地域を彩る食物語」の開催内容を振り返り、本事業に参加した機関の紹介、講演会、人材育成事業の受講生による成果報告ならびに開発した商品の販売会の模様をダイジェストで紹介しました。
 また、食品開発支援機構の2財団から、最近の取組事例や新商品開発支援について紹介があります。
 QRコードから登録が出来ます。

主催：北見市産学官連携推進協議会 協賛：北見工業大学



共同研究 2020年度 123件 (3月1日現在)





スタッフ活動 (2021.1. ~ 2021.3.)

北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動	スタッフ	日程
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	1月5日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター管理運営検討チーム会議*	会議 有田	1月22日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター産学官共同研究検討チーム会議*	会議 有田	1月29日
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	2月1日
[3大学] ¹⁾ 令和2年度第4回オープンイノベーションWG*	会議 有田・内島	2月12日
[他大学] 山口大学知的財産セミナー～研究活動と知的財産～(応用コース)*	イベント 内島	2月22日
[その他] ²⁾ 地域を彩る食物語	イベント 有田・内島	2月24～26日
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	3月1日
[他大学] 金沢大学リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証成果報告会*	会議 内島	3月1日
[その他] ³⁾ 産学連携知的財産アドバイザー派遣先大学全体会議*	会議 有田・内島	3月5日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター管理運営検討チーム会議*	会議 有田	3月10日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンター産学官共同研究検討チーム会議*	会議 有田	3月10日
[その他] ⁴⁾ チャレンジフィールド北海道第4回グロスチーム会議*	会議 有田	3月11日
[その他] ⁵⁾ JST産学コーディネーター育成プログラム委員会*	会議 内島	3月12日
[他大学] 山口大学知的財産教育研究共同利用拠点運営委員会*	会議 内島	3月15日
[3大学] ¹⁾ オープンイノベーションセンタービジネス戦略検討チーム会議*	会議 有田	3月16日
[3大学] ¹⁾ 令和2年度第5回オープンイノベーションWG*	会議 有田・内島	3月18日
[その他] ⁵⁾ 研究者のための+αシリーズvol.5 Develop Your Niche Over the World* ー研究者発ベンチャー起業のマインドセットー	イベント 内島	3月18日
[その他] ⁶⁾ 第28回 地域を活かす科学技術政策研修会* 第1部 第6期科学技術・イノベーション基本計画と 令和3年度地域・産学官連携支援制度説明	イベント 内島	3月19日

[]内は主な主催機関

*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1)小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学 2)北見市産学官連携推進協議会 3)独立行政法人工業所有権情報・研修館 4)公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団) 5)国立研究開発法人科学技術振興機構科学技術イノベーション人材育成部 6)公益財団法人全日本科学技術協会

お詫びと訂正

前号No.3のニュースレターの中のFocus「低温室リニューアル」において、低温室の最低温度の表記に一部誤りがありました。正しい情報は以下の通りです。

低温室1 最低温度:(誤) -50℃ ➡ (正) -30℃

低温室3 最低温度:(誤) -50℃ ➡ (正) -30℃ 温度プログラム設定(誤) 可能 ➡ (正) 不可能

訂正いたしますとともに、深くお詫び申し上げます。



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2
TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター (CRC, Center for Regional Community)

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>

chiiki@desk.kitami-it.ac.jp

